

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

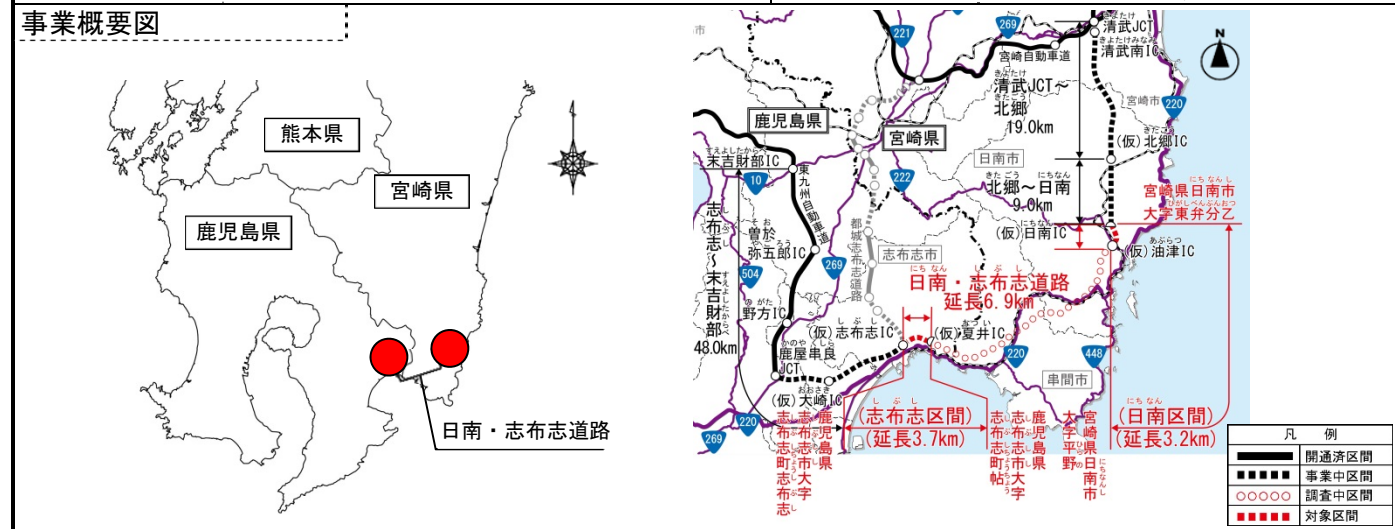
事業の概要

事業名	一般国道220号 (東九州自動車道) 日南・志布志道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	日南区間：宮崎県日南市大字東弁分乙～平野 志布志区間：鹿児島県志布志市大字志布志町帖～志布志町志布志	延長	6.9km		

**事業概要**  
東九州自動車道は、福岡県北九州市を起点とし、大分・宮崎県を経由し、鹿児島県鹿児島市に至る計画延長約436kmの高速自動車国道である。  
そのうち、宮崎県日南市～鹿児島県志布志市間約40kmは、東九州自動車道唯一の未事業化区間となっている。

**事業の目的、必要性**  
本道路は、速達性及び周遊性の向上により、地域観光の発展に寄与するとともに、志布志港へのアクセス向上により、飼料輸送などの産業活動を支援し、縦断線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避する事で安全で円滑な高速ネットワーク形成に寄与するものである。

全体事業費 約222億円  
計画交通量 約5,300  
～約13,700台/日



関係する地方公共団体等の意見

**【宮崎県知事】**  
新規事業採択時評価に係る「一般国道220号(東九州自動車道)日南・志布志道路」事業の予算化に同意致します。  
当該道路は、人やモノの交流を促進し、本県の経済活動、物流、企業誘致、観光、医療、防災などあらゆる分野で可能性が大きく広がる重要な路線であると共に、今後想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には、「命の道」として大変重要な役割を担う路線です。  
県としましては、今後とも、日南・串間地域の「東九州道利活用促進協議会」を通じて、開通直後から直ちにストック効果を最大限に発揮させるための地域の取組を一層推進してまいりますので、東九州自動車道の早期全線開通が図られるよう特段の御配慮をお願いします。

**【鹿児島県知事】**  
東九州自動車道は、南九州の国際物流拠点港として整備が進む志布志港や大隅地域から宮崎県や北部九州への物流の効率化、流通拡大による産業の活性化、さらには日南海岸国定公園に指定され、すばらしい景観で知られるダグリ岬などの観光振興の促進を図る上で、必要不可欠な道路であり、また、南海トラフ地震など巨大津波発生時における防災機能確保の面においても、大きな役割を担うことが期待される道路です。  
当県としては、東九州自動車道は地域の企業立地を促進するなどのストック効果をもたらす重要な道路であると強く認識しているところであり、夏井から志布志間の事業化のあかつきには、事業中区間の埋蔵文化財調査や関係者協議等についても、さらにスピード感をもって進め、一体的に事業促進が図られるよう最大限努力してまいりますので、是非とも平成28年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。  
また、残る県境から夏井までの区間の早期事業化が図られるよう特段の配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 手続きの完了：都市計画決定(H28.1.15)

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	1.2 (1.5)	総費用 2,383億円 (事業費: 2,239億円 維持管理費: 143億円)	総便益 2,854億円 (走行時間短縮便益: 2,076億円 走行経費減少便益: 508億円 交通事故減少便益: 270億円)	基準年 平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1 (交通量 -10%)	B/C=1.3 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.1 (事業費変動 +10%)	B/C=1.3 (事業費変動 -10%)	
		事業期間変動	B/C=1.1 (事業期間変動 +20%)	B/C=1.3 (事業期間変動 -20%)	

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—
事故対策		◎	・現道の課題箇所を回避し、安全で円滑な走行環境を形成 〔日南区間に並行する国道220号の死傷事故率〕 現況 113.6 件/億台キロ → 整備後 46.1 件/億台キロ 〔志布志区間に並行する国道220号の死傷事故率〕 現況 161.9 件/億台キロ → 整備後 97.3 件/億台キロ
歩行空間		—	・注目すべき影響はない
社会全体への影響	住民生活	—	・注目すべき影響はない
	地域経済	◎	・観光地間の速達性向上により、周遊観光が増加し、観光経済を活性化 〔イルカランド～宮崎神宮の所要時間〕 現況 117 分 → 整備後 99 分 (18分短縮) ※事業中区間の短縮も含む ・志布志市街地や道路構造に課題のある箇所を一部回避する志布志港との輸送ルート形成により、走行性を向上し、経済活動を支援するとともに、市街地の生活環境を改善 〔縦断線形不良箇所・屈曲箇所〕 2箇所削減 〔志布志港から宮崎市までの所要時間〕 現況 122 分 → 整備後 102 分 (20分短縮) ※事業中区間の短縮も含む
	災害	—	・注目すべき影響はない
	環境	—	・注目すべき影響はない
	地域社会	—	・注目すべき影響はない
事業実施環境		○	・都市計画決定(H28.1.15) ・宮崎県知事、鹿児島県知事より、日南～志布志間の早期事業化を要望

採択の理由

費用便益比が1.2(1.5)と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、日南・志布志道路の開通により、速達性及び周遊性が向上し、地域観光の発展に寄与するとともに、志布志港へのアクセス向上により、飼料輸送などの産業活動の支援や、縦断線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避する事で安全で円滑な高速ネットワークを形成するなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※B/Cの上段の値は清武JCT～志布志IC(仮称)を対象とした場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

## 新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業箇所）

### 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>本道路は、速達性及び周遊性の向上により、地域観光の発展に寄与するとともに、志布志港へのアクセス向上により、飼料輸送などの産業活動を支援し、縦断線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避する事で安全で円滑な高速ネットワーク形成に寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震等による津波浸水想定区域や、防災点検要対策箇所が存在し、幹線ネットワークの途絶により、孤立地域の発生が想定される。</li> </ul>	<p>※九州圏広域地方計画(H21.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時においても、救援・救護、災害復旧等に的確に対応できるよう、災害時における確実な避難・緊急輸送等を図るための迂回ルート等の余裕性（リダンダンシー）に優れた交通網の整備を推進する。</li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道220号には、線形不良箇所や屈曲箇所等があり、日南・志布志市街地で交通事故率が高く、死亡事故発生箇所も存在する。</li> </ul>	<p>※未来みやざき創造プラン(H27.7改訂)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で円滑・快適な交通環境が整備されること等により交通事故のない安全で安心な社会を目指す。</li> </ul>
地域経済・地域社会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地域には、鶴戸神宮等の著名な観光地が存在するが、高速道路空白地域のため、地域の観光客数は伸び悩んでいる。一方、油津港への観光クルーズ船寄港実績が近年増加し、寄港時の周辺観光へのニーズが高まっている。</li> <li>・志布志港は、8つの国内外定期航路が就航し、東九州自動車道の延伸等に伴い原木輸出量が増加、飼料用とうもろこし輸入量が全国2位の物流拠点。志布志港と各地域までの間は、現道の国道220号を利用して飼料等を輸送しているが、輸送に不適な勾配・線形箇所による走行性や、輸送車両の市街地通過の課題がある。</li> </ul>	<p>※九州圏広域地方計画(H21.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界を巡る外航クルーズ船の寄港地における広域的な寄港地誘致活動や国際定期航路の誘致等を推進する。広域的な連携による観光地の魅力向上を図るため、相互連携による国際的な観光ルートの形成を進めるほか、循環型の高速度交通体系の形成を図りつつ魅力ある地域資源を結ぶ広域観光ルートの形成を進める。</li> <li>・国際物流機能を強化するため、志布志港の多目的ターミナルの整備を推進するとともに、港湾へのアクセス機能を強化するために高規格幹線道路や地域高規格道路等の交通基盤の必要な整備を推進する。</li> </ul>
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、脆弱度の評価がDランク→Bランクに改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、速達性及び周遊性が向上し、地域観光の発展に寄与するとともに、志布志港へのアクセス向上により、飼料輸送などの産業活動を支援し、縦断線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避する事で安全で円滑な高速ネットワーク形成に寄与することなど有効性の高い事業と評価する。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	日南市	志布志市	8 [4]	1.00 (D) [0.62 (C)]	0.25 (B) [0.62 (C)]	▲133.01 [▲0.36]	0.22 [0.02]	0.88 [0.01]	◎

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定（H28.1.15）</li> </ul>

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は清武JCT～志布志IC（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果